

認める

それぞれの立場で **子どもを認める場面をつくりましょう**

家庭で

毎日の会話

「今日はどうだった？」
「今度一緒に～しようか」等と
声を掛けましょう。

プラスの声掛け

「ありがとう」「うれしいな」
「助かるよ」といったプラスの
言葉を心掛けましょう。

学校で

毎日の授業 学校行事 部活動

「分からない」を「分かった」に
「できるかな」を「できた」に
子どもたちは学校生活の様々な活動
を通して自信を持つようになり、互いの
良さに気づき、自他を尊重すること
を学びます。

地域で

地域の行事

お祭りやボランティア活動などで、
子どもたちが活躍できる場をつくり
ましょう。

コミュニティスクール

子どもたちのために地域の力を発揮
しましょう。

見守る

いじめのサインを意識して **みんなで見守りましょう**

子どもたちがいじめに苦しんでいるとき **何らかのサイン**
を出していることがあります。

前ページの、いじめのサイン「発見シート」を活用し、学校
で、家庭で、そして地域で、子どもの声にならない、小さな
SOSを見逃さないように見守っていきましょう。

「あれ?」「いつもと違うなあ」
と気づくことが大事です。
ふだんから子どもの様子を気にかけて
見ていくことで、サインに気づきやすくなります。

受け止める

気になる様子があったら **話をじっくり聴きましょう**

「話してくれてありがとう」

いじめを受けていることを話すのはとても勇気の
いることです。子どもが話してくれたときには、「それ
は違う」などと頭から否定せず、まずは受け止めて
あげてください。「痛かった」「辛かった」「悔しかった」
など、様々な不安な気持ちに共感を示しながら聴きま
しょう。そして「よく話してくれたね」「ありがとう」と伝え
てください。

大人は落ち着いて…

相談をされた大人の方が、子ども以上にうろたえ
たり、感情を露わにしたりすると、子どもはせっかく勇気
を持って打ち明けたのに、安心して相談できなくなる
ことがあります。困っているのは子ども自身です。大人
はできるだけ冷静さを保ち、子どもの声に耳を傾ける
ことが大切です。その上で、どうしたらよいかを一緒に
考えてあげてください。

それでもなかなか話してくれないときは

無理に追及したり、結論を急いだりすることは避け、「またいつでも相談して
ほしい」「あなたのことは必ず守る」ことを伝えてください。

学校にも
相談!

いじめ防止「学校・家庭・地域連携シート」

いじめんだー

認める

子どもの自己肯定感
自己有用感を
高めます

見守る

子どもの小さな
SOSに気づき
いじめを早期に
発見します

まもらいだー

受け止める

気持ちに寄り添うことで
子どもは安心して
相談できます

まもらーナ

児童生徒の
安心・安全を守る、
仙台市教育委員会の
イメージキャラクター
です。

学校

家庭

地域

いじめ防止に向けた、私たち大人の役割を確認します。

連携のキーワードは
「認める」「見守る」「受け止める」

仙台市教育委員会の相談窓口

いじめ相談受付メール ▶ soudan@city.sendai.jp

仙台市24時間いじめ相談専用電話 ▶  **0120(81)2455**

仙台市教育相談室 ▶ **022(214)0002** 相談時間
平日 9:00~17:00

起床～登校前(朝)

- 朝なかなか起きてこない。
- 朝になると体の具合が悪いと言い、学校を休みたがる。
- 朝食を食べようとしない。
- 疲れた表情をしている。ぼんやりしている。ふさぎ込んでいる。
- 登校時間が近づくと、頭痛や腹痛、発熱、吐き気など体調不良を訴えて登校を渋る。

登校

- 特定の子がカバンや荷物を持たされている。
- 立ち止まっている。学校と違う方向に歩いている。
- 遠回りしている。
- 一人だけ置いて行かれるなど仲間外れにされている様子が見られる。
- からかわれたり悪口を言われたりしている様子が見られる。
- 登校する友人やグループに変化がある。

朝の会

- 子どもの様子がいつもと違っている。(泣いている、突っ伏している、沈んでいるなど)
- 理由なく遅刻してくる。
- 衣服が汚れていたり、身体にあざや傷が見られたりする。

授業中

- 教室に入らず、保健室などで過ごす時間が増える。
- 学習意欲が低下したり、忘れ物が増えたりしている。
- 授業での発言を冷やかされたり、無視されたりする。
- 不自然に机の距離が離れている。
- グループ決めるとき、なかなか所属が決まらない。
- 持ち物がよくなる。教科書やノートへの落書きがある。
- 体調不良を訴え、保健室に頻繁に行く。
- 特定の子の発言に対し、目配せしたりにやにやしたりする。
- 特定の子の持ち物に触れることを嫌がる。

休日・長期休業中

- 生活のリズムが乱れ、昼夜逆転している。家族が寝てから活動する。
- 部活動に行かなくなる。外出せずに部屋にこもりきりになる。
- 遊んでいる際、友達から横柄な態度をとられている。友達に横柄な態度をとる。
- 友達から頻りに連絡がきて、外出が増える。交友関係が変化し、校内の友達よりもインターネット上で知り合った人と付き合うようになる。
- お金の遣い方が荒くなったり、無断で家から持ち出ししたりする。
- 買い与えた覚えのない品物を持っている。
- 自己否定的な言動(自傷行為等)が見られ、死や非現実的なことに関心を持つ。インターネットの自殺サイト等に関心を持つ。
- 日曜日の夜や、長期休業明けの前日などに体調不良を訴えたり、不安定になったりする。(宿題や課題が終わっていないことが原因の場合もあります。)

子どもの小さなSOSを見逃さないための いじめのサイン「発見シート」



家庭

ご家庭でお子さんに気になる様子が見られるなど、心配なことがあったら、お子さんの話をじっくりと聞き、学校に相談しましょう。



学校

お子さんの様子で気になることがある場合や、連絡なく登校していないときは、担任や学年主任、養護教諭や教頭などから保護者に連絡します。



地域

地域の子もまたちに気になる様子が見られた場合は、保護者や学校にお知らせください。

休み時間

- 一人で過ごしていることが増える。
- 遊び仲間や所属グループが変わる。
- (不快な)あだ名で呼ばれている。
- 友達とふざけ合っているが表情が暗い。または、作り笑いをしている。
- 特に用事がないのに職員室や保健室に頻繁に通っている。
- 遊びで使った道具等の片付けを、いつもやらされている。

給食時間

- 給食当番のとき、いつも重たい食缶等を運んでいる。
- 配膳を嫌がられている。
- グループをつくる時、机を離されていたり、一人でぼつんと食べていたりする。
- おかずやデザートを友達に渡している。
- 給食にほとんど手を付けず、ぼーっとしている。

帰宅後～就寝(夜)

- すぐに自分の部屋にこもってしまい、家族との会話を避ける。
- 表情の変化が乏しくなったり、急に怒ったり泣いたりする。
- 無理して明るく振る舞ったり、急に甘えたりするようになる。
- 服の汚れや破れ、あざやすり傷などがある。理由を聞いてもごまかす。
- 親へ反抗したり、弟や妹をいじめたりする。ペットなどに八つ当たりする。
- 食欲がない。なかなか寝付けぬ。
- スマホの着信音や玄関のチャイム音に過剰反応する。
- 学用品や持ち物がなくなっている。
- 自転車や持ち物などが壊されている。道具や持ち物に落書きがある。
- 夢でうなされたり、夜中に突然起きたりする。

放課後(児童館)

- 遊んでいる際、鬼ごっこなどで特定の子が狙われている。
- 異学年の子とばかり遊んでいる。
- いつも一人遊びをしている。
- 気になる様子がある。(泣いている、ケンカしている、言い争っているなど)

放課後(校内)

- 靴や傘などが、隠されたり、いたづらされたりする。
- 理由なく急いで下校したり、なかなか帰らなかつたりする。
- 部活動に行かずに教室に残っていたり、部活動を休みがちになったりする。
- 教職員の目の届く範囲から離れようとする。
- 特定の人が、からかわれたり、責められたりしている。
- 部活動中、又は活動終了後、部員の雰囲気がおかしい。

放課後・下校(校外)

- 特定の子がカバンや荷物を持たされている。
- 一人でみんなのお菓子や飲み物を買に行かされている。
- 気になる様子がある。(泣いている、ケンカしている。言い争っている。一人だけ置いて行かれていたりなど)

清掃時間

- 一人で清掃や片付けをしていることが多い。
- いつも大変な仕事ばかりやって(やらされて)いる。
- ごみ捨てを毎回やって(やらされて)いる。
- 特定の子の机を運びたがらない。または机が放置されている。

